

県政調査計画書

平成 28 年 6 月 16 日

県議会議長

殿

会派名 県進会神奈川県議会議員団

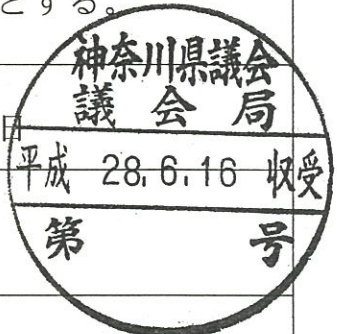
団長名 赤野 たかし



(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 赤野 たかし (団 員) 菅原 直敏 とうま 明男 飯田 満 古賀 照基
2 調査目的	障害者雇用を推進している企業や障がい者支援・いじめ防止のため独自の条例等を制定している県市などにおいて、先進的な取組や地域での取組を調査し、本県の今後の政策の推進に資することを目的とする。ともに、熊本地震により甚大な被害を受けた地域を視察し、本県の今後の被災地支援の参考とする。
3 調査期間	平成28年8月3日～平成28年8月5日
4 調査地	大分県、熊本県、鹿児島県
5 調査項目	(1) オムロン太陽株式会社 社会福祉法人「太陽の家」とオムロン株式会社により、1972年に福祉施設・身障者・民間企業の合弁会社として、オムロン太陽株式会社は誕生し、別名「車イスのある工場」と呼ばれている。 同社は、オムロン株式会社の特例子会社として、厚生労働大臣の認可を受けて、障害者雇用率の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社である。 同社の取組を調査し、本県の今後の障がい者雇用支援等の施策の参考とする。



(2) 大分県庁

大分県では、「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」を平成28年3月30日制定し、同年4月1日から施行している。

この条例の制定に至るまでの経過、条例制定に当たっての考え方及び今後の課題等について調査し、本県の今後の障がい者施策等の参考とする。

また、併せて、大分県議会の議会運営について調査し今後の本県の議会運営についての参考とする。

(3) 大分県立美術館

平成27年4月に開館した大分県立美術館は、「県民とともに成長する」をモットーに、将来にわたって美術の多面的な可能性や県民ニーズの多様な広がりにも柔軟に対応できるように工夫されている。

この美術館の建設に当たっての基本的な考え方、開館に至るまでの経過及び今後の運営においての方針等について調査し、本県の今後のかながわらしい文化施策等推進のための参考とする。

(4) 別府市役所

平成25年9月30日に公布され、平成26年4月1日から施行されている「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」は、障がいのある人を取り巻く状況の改善に別府市全体で取り組み、障がいの有無にかかわらず、お互いに認め合い、思いやり、支え合う社会をつくるためにという考えの中で制定されている。

この条例の制定に至るまでの経過、条例制定に当たっての考え方及び今後の課題等について調査し、本県の今後の障がい者施策等の参考とする。

(5) 阿蘇大橋及び周辺地域

阿蘇大橋は、熊本県阿蘇郡南阿蘇村立野と南阿蘇村河陽字黒川の国道325号の黒川を跨ぐところに架橋され、アーチ型が特徴の橋であったが、熊本地震で崩落した。

阿蘇大橋の崩落の状況を調査するとともに、同橋の崩落による周辺地域の震災復旧への影響等を調査することにより、本県の今後の被災地支援の参考とする。

(6) 熊本県酪農業協同組合連合会

乳牛の飼養・管理技術の指導から乳製品の製造販売までを一貫して行う総合酪農組織である熊本県酪農業協同組合連合会（らくのうマザーズ）を調査し

	<p>本県の今後の農業施策等の参考とする。 併せて、被災当時及び現在の状況等について調査し、本県の今後の被災地支援の参考とする。</p> <p>(7) 鹿児島市役所 鹿児島市では、平成25年6月に公布された「いじめ防止対策推進法」第12条の規定に基づき、同市のいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するために「鹿児島市いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの防止等のための諸事業を推進している。 この方針の策定に至るまでの経過、方針策定に当たっての考え方及び方針に基づき実施されている諸事業等について調査し、本県の今後のいじめの防止等推進のための施策の参考とする。</p> <p>(8) 鹿児島県庁 鹿児島県では、「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」を制定し、平成26年10月から施行している。 この条例の制定に至るまでの経過、条例制定に当たっての考え方及び今後の課題等について調査し、本県の今後の障がい者施策等の参考とする。</p>												
6 経費の概算額	<table border="0"> <tr> <td>一人当たりの議員経費・・・・・・・・</td> <td>97,600円</td> </tr> <tr> <td> 内訳 交通費</td> <td>55,000円</td> </tr> <tr> <td> 宿泊費</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td> 車借上料</td> <td>6,000円</td> </tr> <tr> <td> 日当</td> <td>3,600円</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>97,600円</td> </tr> </table>	一人当たりの議員経費・・・・・・・・	97,600円	内訳 交通費	55,000円	宿泊費	33,000円	車借上料	6,000円	日当	3,600円	合計	97,600円
一人当たりの議員経費・・・・・・・・	97,600円												
内訳 交通費	55,000円												
宿泊費	33,000円												
車借上料	6,000円												
日当	3,600円												
合計	97,600円												

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	8/3 (水)	大分県	午前 午前 午後	航空機 公共交通 機関等 公共交通 機関等 公共交通 機関等	(羽田→大分) ●視察1「オムロン太陽株式会社」 ・障害者雇用率の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社の状況 ●視察2「大分県庁」 ・「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」の取組について ●視察3「大分県立美術館」 ・平成27年4月に開館した美術館の状況
2	8/4 (木)	大分県 熊本県	午前 午後	車両 車両 車両	●視察4 別府市役所 ・「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」の取組について ●視察5「阿蘇大橋及びその周辺地域」 ・阿蘇大橋の崩落の状況とその周辺地域の状況等 ●視察6「熊本県酪農業協同組合連合会」 ・乳牛の飼養から乳製品の製造販売までを一貫して行う総合酪農組織について、熊本地震による被災状況について
3	8/5 (金)	鹿児島県	午前 午前	新幹線 公共交通 機関等 公共交通 機関等 航空機	●視察7「鹿児島市役所」 ・「鹿児島市いじめ防止基本方針」の取組について ●視察8「鹿児島県庁」 ・「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」の取組について (鹿児島→羽田)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 赤野 たかし (団 員) 菅原 直敏 とうま 明男 飯田 満 古賀 照基
---------	---

1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
①調査経費	議員1人当たり 100万円以内	議員1人当たりの経費は 97,600円であり、基準を満たして いる。	適
②調査箇所	1日につき午前 及び午後それぞ れ1箇所以上調 査実施移動日は 1箇所以上調査 実施	移動日について1箇所以上、それ 以外の日について、午前及び午後そ れぞれ1箇所以上調査を実施する行 程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
①調査の実施 が県政課題解 決の一助とな るか。	(1) オムロン太陽株式会社 本県では、障害者雇用のための企業交流会「はじめの一 歩」を県内7ヵ所で開催する等、中小企業が障害者雇用を進 めるための支援を推進している。 障害者雇用を推進している企業を調査することは、県政課 題解決の一助となるものと認められる。 (2) 大分県庁、(4) 別府市役所、(7) 鹿児島市役所、(8) 鹿児島 県庁 本県では、平成27年3月には、神奈川県障害福祉計画を改

①調査の実施が県政課題解決の一助となるか。

定し、障害の有無にかかわらず、誰もが安心して豊かに暮らすことができる地域社会の実現を目指して様々な取組を推進していることや平成26年4月に神奈川県いじめ防止基本方針を策定し、県、市町村、県内の全ての学校、関係機関・団体等が連携して取組を推進していることから、障がい者支援・いじめ防止のため独自の条例等を制定している県市などにおいて、先進的な取組や地域での取組を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。

(3) 大分県立美術館

本県では、神奈川の文化そのものがマグネットとなって、人を引き付け、街に魅力と賑わいをもたらす、マグネット・カルチャー、略して「マグカル」の取組を展開している。平成27年4月に開館し、「県民とともに成長する」をモットーに、将来にわたって美術の多面的な可能性や県民ニーズの多様な広がりにも柔軟に対応できるように工夫されている美術館を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。

(5) 阿蘇大橋及び周辺地域、(6) 熊本県酪農業協同組合連合会

熊本地震において、阿蘇大橋やその周辺地域の被災状況等を調査することは、今後の被災地支援を検討する上で参考になるとともに、本県の今後の防災に向けた取組を検討するうえでも参考となり、県政課題解決の一助となるものと認められる。

(6) 熊本県酪農業協同組合連合会

本県においても農業等の第1次産業の担い手の減少や高齢化が進んでおり、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するなど、農林漁業の6次産業化への推進が検討されている。乳牛の飼養・管理技術の指導から乳製品の製造販売までを一貫して行う総合酪農組織を調査することは、県政課題解決の一助となるものと認められる。

<p>②調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>(1) オムロン太陽株式会社</p> <p>障害者雇用を推進している企業を調査することは、平成 25 年 4 月から民間企業は法定雇用率が 1.8%から 2.0%となったが、本県の平成 27 年 6 月の実績は 1.82%であり、今後、さらに行政と使用者団体が連携し、中小企業における障害者雇用の促進を図っていく必要があることから、調査の実施時期としては時宜を得たものである。</p> <p>(2) 大分県庁、(4) 別府市役所、(7) 鹿児島市役所、(8) 鹿児島県庁</p> <p>障がい者支援・いじめ防止のため独自の条例等を制定している県市などにおいて、先進的な取組や地域での取組を調査することは、「かながわ障害者計画」の対象期間である平成 26 年度から平成 30 年度のうち、2 年間が経過し、新たな課題等も出ている中で、今後の見直し等への参考とすること、また、平成 28 年 1 月に神奈川県いじめ防止対策調査会からの答申があり、この答申に基づき様々な施策も進められていることから、調査の実施時期としては時宜を得たものである。</p> <p>(3) 大分県立美術館</p> <p>平成 27 年 4 月に開館し、「県民とともに成長する」をモットーに、将来にわたって美術の多面的な可能性や県民ニーズの多様な広がりにも柔軟に対応できるように工夫されている美術館を調査することは、東京 2020 オリンピック・パラリンピック等の大規模な大会の開催が予定されている中で、この機運を盛り上げ、観光振興等にも活かしていくために、本県では、「マグカル」の取組と連携した様々な取組も検討されており、今後、これらの取組をさらに進めていく必要があることから、調査の実施時期としては時宜を得たものである。</p> <p>(5) 阿蘇大橋及び周辺地域、(6) 熊本県酪農業協同組合連合会</p> <p>熊本地震においての被災地の現在の状況等を調査することは、今後の被災地支援を検討する上で必要であるとともに、本県の今後の防災対策の検討においても必要であることから、調査の実施時期としては時宜を得たものである。</p>
---------------------------	---

<p>②調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>(6) 熊本県酪農業協同組合連合会 乳牛の飼養・管理技術の指導から乳製品の製造販売までを一貫して行う総合酪農組織を調査することは、本県においても平成 28 年 3 月に神奈川県 6 次産業化推進計画を策定し、様々な取組を進めていることから、調査の実施時期としては時宜を得たものである。</p>
<p>③現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>それぞれの分野において、今後の本県における施策の取組に活かして行くためには、現地に赴き、現地の職員から、事業内容やその成果について、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>